

魅力

自然 歴史・文化 温泉・リゾート

体験・イベント

那覇を拠点としたドライブ周遊観光で滞在力を強化



入域観光客の堅調な伸びに伴い、平成18年度のレンタカー保有台数が平成14年度に比べ約2倍に増加。また、沖縄本島の滞在力アップの目玉として期待されるリゾートウエディングは、平成15年との対比で約3倍(6,050組)に急増し国内トップ。また、平均滞在日数も3.6日を維持。



首里城ライトアップ(手前は守礼之門)

宿泊者数

沖縄県統計に基づく沖縄総合事務局による推定値

平成14年(2002)	368万人
平成15年(2003)	381万人
平成16年(2004)	402万人
平成17年(2005)	434万人
平成18年(2006)	437万人

取組

PR・誘致活動 案内・情報提供 人材育成

体験・イベント開催 交通アクセス

レンタカーの利用増加と利便性向上、リゾートウエディング

沖縄のレンタカー保有台数は、平成18年度は18,470台となり、平成14年度に比べ約2倍増となっている。年間の延べ貸渡回数も平成17年度は128万回となり、平成14年度に比べ、約1.8倍となる等、飛躍的に増加している。このため、カーナビへの最新の観光情報提供システムの導入、「DFSギャラリー沖縄」における「レンタカーデポ」(一時預かり)システムの導入、平成19年10月に那覇空港から本島北部までの直接移動が容易となる「レンタカーステーション沖縄」のオープン等、更なる利便性の向上が図られている。また、海外にも引けを取らない美しい海を背景としたロケーションに加え、治安の良さ、航空路線やアフターウエディングの充実等が人気を呼び、沖縄本島北部のリゾートホテルでの挙式を行う県外カップルが急増(平成15年約2,000組、平成16年約3,500組、平成17年約4,600組、平成18年約6,050組)し、2連続(平成17～18年)で国内1位を記録した。このリゾートウエディングの伸びは滞在力アップに繋がり、レンタカー利用の増加の一端をも担っている。最近では、海外(香港等)からの沖縄ウエディングの人気も広がりつつある。



レンタカーデポシステムのある「DFSギャラリー沖縄」



船上での挙式

観光案内・街角ガイドの充実

首里城・国際通りを有する那覇は観光客が必ず訪れる“まち”。年中無休の「那覇市観光案内所」の設置に加え、より深く那覇のまちを伝える「那覇市街角ガイド」を養成し、庶民の生活・食文化を味わう“まちぐわー”(市場)めぐりや沖縄の歴史・伝統文化を象徴する首里城案内等を行っている。



那覇市公設市場

トランジットモールの本格実施

「国際通りトランジットモール」(実施:国際通り商店街振興組合連合会)が、平成19年4月から本格実施されている(毎週日曜日のみ)。1km余りの区間を小型のトランジットバスとベロタクシー(自転車タクシー)のみが走り、オープンカフェも7カ所設置されるとともに、随所でストリートパフォーマンスが催され観光客にも好評。



国際通りのオープンカフェ

(財)沖縄観光コンベンションビューロー
TEL:098-859-6127 URL:<http://www.ocvb.or.jp/index.php>
那覇市観光協会
TEL:098-868-4887 URL:<http://www.naha-navi.or.jp/>

滞在力のあるまち